



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
 コード番号 5955 URL <https://www.kk-yamashina.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 木村 隆宣

TEL 075-591-2131

定時株主総会開催予定日 2021年6月28日

配当支払開始予定日

2021年6月11日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,332	2.0	512	32.8	546	35.5	327	5.2
2020年3月期	9,526	2.1	385	18.6	402	19.5	345	4.6

(注) 包括利益 2021年3月期 354百万円 (9.0%) 2020年3月期 388百万円 (4.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	2.37		3.1	3.4	5.5
2020年3月期	2.50		3.3	2.6	4.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	16,208	11,173	66.4	78.11
2020年3月期	15,657	10,957	67.6	76.76

(参考) 自己資本 2021年3月期 10,763百万円 2020年3月期 10,577百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	787	155	49	2,320
2020年3月期	792	742	370	1,758

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		1.00	1.00	137	40.0	1.3
2021年3月期		0.00		1.00	1.00	137	42.2	1.2
2022年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00		36.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	16.3	250	100.1	265	82.3	182	143.5	1.32
通期	10,000	7.2	530	3.5	560	2.5	379	15.9	2.75

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	143,611,765 株	2020年3月期	143,611,765 株
期末自己株式数	2021年3月期	5,811,435 株	2020年3月期	5,811,423 株
期中平均株式数	2021年3月期	137,800,339 株	2020年3月期	138,113,918 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,991	8.7	147	2.7	182	2.0	108	1.7
2020年3月期	3,277	4.6	151	30.9	185	26.7	110	54.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	0.79	
2020年3月期	0.80	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	11,202	9,294	83.0	67.45
2020年3月期	11,219	9,322	83.1	67.65

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,294百万円 2020年3月期 9,322百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上半期において新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。下半期は段階的な経済活動の再開や政策等の効果により持ち直しの動きも見られましたが、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えておらず、景気の回復は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先である自動車業界においても、急激な需要の落ち込みによる影響を受けた後、着実な回復傾向にありましたが、世界的な半導体需給の逼迫などから先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと当社グループにおいては、状況に応じて必要な感染対策を講じながら、経費削減等により業績の向上に努めております。また、グローバル体制の推進及び品質力、業務対応力、生産技術力の向上を図り、社会が望む魅力的な製品開発・提案を続け営業力及び開発力の拡充を図っております。

その結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高9,332百万円（前連結会計年度比2.0%減）、営業利益512百万円（前連結会計年度比32.8%増）、経常利益546百万円（前連結会計年度比35.5%増）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、327百万円（前連結会計年度比5.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の縮小により、主要取引先である自動車関連業界において急激な需要の落ち込みにより減産を余儀なくされたことを受け、受注が減少方向で推移しております。その結果、売上高は6,481百万円（前連結会計年度比9.4%減）、営業利益は445百万円（前連結会計年度比9.8%増）となりました。

(電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業におきましては、近年受注の低迷により厳しい状況が続いております。その状況のもと、経費削減及び受注確保に努めております。その結果、売上高は1,173百万円（前連結会計年度比2.0%減）、営業利益は46百万円（前連結会計年度は営業損失0百万円）となりました。

(不動産事業)

保有不動産について、安定した稼働率の確保に努めておりますが、新型コロナウイルス感染拡大を受け一部テナントにおいて家賃減額を実施したことから、売上高は244百万円（前連結会計年度比8.1%減）、営業利益は122百万円（前連結会計年度比17.6%減）となりました。

(化成品事業)

化成品事業におきましては、受注が堅調に推移し、売上高は1,386百万円（前年同四半期比56.3%増）、営業利益は104百万円（前年同四半期比110.2%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、売電事業から構成されております。売電事業につきましては、ソーラーパネルの設置を保有不動産の有効活用目的に限定することで事業リスクの低減を図っております。

その結果、売上高は46百万円（前年同四半期比112.9%増）、営業利益は12百万円（前年同四半期比211.0%増）となりました。また、ソーラーパネルを1施設増設しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、7,202百万円（前連結会計年度末6,371百万円）となり、831百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が562百万円、受取手形及び売掛金が165百万円、電子記録債権が81百万円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、9,005百万円（前連結会計年度末9,286百万円）となり、281百万円の減少となりました。その主な要因は、建物及び構築物（純額）が91百万円、機械装置及び運搬具（純額）が38百万円、建設仮勘定が77百万円、繰延税金資産が63百万円減少したこと等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、2,829百万円（前連結会計年度末2,606百万円）となり、223百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が133百万円、未払法人税等が91百万円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、2,204百万円（前連結会計年度末2,093百万円）となり、111百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金が136百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、11,173百万円（前連結会計年度末10,957百万円）となり、215百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が189百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は、2,320百万円（前連結会計年度末1,758百万円）となり、当連結会計年度末における資金は、562百万円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は787百万円（前連結会計年度は792百万円）となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益545百万円、減価償却費424百万円等による資金増加要因が、法人税等の支払額41百万円等による資金減少要因を上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は155百万円（前連結会計年度は742百万円）となりました。

収入の主な内訳は、リース債権の回収による収入11百万円、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出157百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は49百万円（前連結会計年度は370百万円）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入金による収入340百万円、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出158百万円、配当金の支払額138百万円等であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大への対策に追われながらも経済活動は徐々に持ち直していくことが期待されますが、主要となる自動車部品製造については、原材料価格の上昇、為替の円高転換等の懸念、世界的な半導体需給の逼迫等もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況のもと当社グループにおいては、市場の要求に柔軟に応え、社会が必要とする価値を提供し続けることに努め、計画的な人材育成、組織構造の変革を進めてまいります。

次期の通期業績予想につきましては、売上高10,000百万円（前連結会計年度比7.2%増）、営業利益530百万円（前連結会計年度比3.5%増）、経常利益560百万円（前連結会計年度比2.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益379百万円（前連結会計年度比15.9%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較及び企業間比較の可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,725,301	2,287,543
受取手形及び売掛金	2,269,444	2,434,738
電子記録債権	511,916	593,588
商品及び製品	777,547	720,642
仕掛品	430,850	469,833
原材料及び貯蔵品	511,096	551,489
その他	147,974	148,423
貸倒引当金	△3,091	△3,477
流動資産合計	6,371,039	7,202,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,442,383	4,470,512
減価償却累計額	△2,761,775	△2,881,345
建物及び構築物(純額)	1,680,608	1,589,166
機械装置及び運搬具	6,177,856	6,288,860
減価償却累計額	△5,296,138	△5,445,216
機械装置及び運搬具(純額)	881,717	843,644
土地	5,436,805	5,436,805
リース資産	481,676	449,136
減価償却累計額	△264,222	△264,775
リース資産(純額)	217,454	184,361
建設仮勘定	78,746	1,150
その他	865,839	883,305
減価償却累計額	△732,378	△766,817
その他(純額)	133,460	116,488
有形固定資産合計	8,428,793	8,171,616
無形固定資産		
のれん	47,265	36,589
その他	30,275	36,496
無形固定資産合計	77,541	73,086
投資その他の資産		
投資有価証券	95,647	145,996
長期貸付金	8,647	7,804
繰延税金資産	340,707	277,011
破産更生債権等	2,181	2,181
その他	364,278	358,297
貸倒引当金	△31,147	△30,719
投資その他の資産合計	780,315	760,571
固定資産合計	9,286,650	9,005,274
資産合計	15,657,689	16,208,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,182,047	1,315,332
短期借入金	778,035	746,675
1年内返済予定の長期借入金	105,672	150,756
リース債務	60,183	79,824
未払法人税等	27,298	119,255
賞与引当金	75,906	81,870
株主優待引当金	—	9,241
その他	377,503	326,855
流動負債合計	2,606,647	2,829,811
固定負債		
長期借入金	146,392	282,878
リース債務	165,417	107,030
繰延税金負債	153,095	159,022
再評価に係る繰延税金負債	752,848	752,848
退職給付に係る負債	504,348	531,435
役員退職慰労引当金	34,710	36,380
資産除去債務	89,324	89,740
その他	247,182	245,225
固定負債合計	2,093,319	2,204,561
負債合計	4,699,966	5,034,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	6,433,020	6,433,020
利益剰余金	2,814,793	3,004,134
自己株式	△231,728	△231,729
株主資本合計	9,106,085	9,295,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,211	37,382
土地再評価差額金	1,429,321	1,429,321
為替換算調整勘定	32,942	1,305
その他の包括利益累計額合計	1,471,476	1,468,009
非支配株主持分	380,160	410,249
純資産合計	10,957,722	11,173,684
負債純資産合計	15,657,689	16,208,057

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,526,526	9,332,708
売上原価	7,537,622	7,357,948
売上総利益	1,988,904	1,974,760
販売費及び一般管理費	1,603,327	1,462,686
営業利益	385,576	512,073
営業外収益		
受取利息	4,710	4,055
受取配当金	1,673	1,687
助成金収入	—	27,752
その他	26,876	13,540
営業外収益合計	33,260	47,036
営業外費用		
支払利息	8,864	7,684
減価償却費	1,820	1,795
為替差損	1,483	372
支払手数料	2,239	2,239
その他	1,448	833
営業外費用合計	15,857	12,925
経常利益	402,979	546,183
特別利益		
固定資産売却益	849	902
投資有価証券売却益	267	—
保険差益	13,877	—
負ののれん発生益	91,735	—
特別利益合計	106,731	902
特別損失		
固定資産売却損	137	7
固定資産除却損	13,396	183
工場移転費用	16,516	1,677
特別損失合計	30,049	1,868
税金等調整前当期純利益	479,661	545,217
法人税、住民税及び事業税	57,981	132,216
法人税等調整額	64,916	54,752
法人税等合計	122,898	186,969
当期純利益	356,762	358,248
非支配株主に帰属する当期純利益	11,669	31,107
親会社株主に帰属する当期純利益	345,093	327,141

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	356,762	358,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,975	34,088
土地再評価差額金	218	—
為替換算調整勘定	38,877	△37,964
その他の包括利益合計	32,119	△3,876
包括利益	388,882	354,372
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	371,580	323,674
非支配株主に係る包括利益	17,301	30,697

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	6,433,020	2,608,251	△181,728	8,949,543
当期変動額					
剰余金の配当			△138,550		△138,550
親会社株主に帰属する当期純利益			345,093		345,093
自己株式の取得				△50,000	△50,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	206,542	△50,000	156,541
当期末残高	90,000	6,433,020	2,814,793	△231,728	9,106,085

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	14,733	1,429,103	1,152	1,444,989	363,176	10,757,709
当期変動額						
剰余金の配当						△138,550
親会社株主に帰属する当期純利益						345,093
自己株式の取得						△50,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,521	218	31,790	26,487	16,984	43,471
当期変動額合計	△5,521	218	31,790	26,487	16,984	200,013
当期末残高	9,211	1,429,321	32,942	1,471,476	380,160	10,957,722

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	6,433,020	2,814,793	△231,728	9,106,085
当期変動額					
剰余金の配当			△137,800		△137,800
親会社株主に帰属する当期純利益			327,141		327,141
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	189,340	△0	189,339
当期末残高	90,000	6,433,020	3,004,134	△231,729	9,295,425

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,211	1,429,321	32,942	1,471,476	380,160	10,957,722
当期変動額						
剰余金の配当						△137,800
親会社株主に帰属する当期純利益						327,141
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	28,170	—	△31,637	△3,466	30,088	26,621
当期変動額合計	28,170	—	△31,637	△3,466	30,088	215,961
当期末残高	37,382	1,429,321	1,305	1,468,009	410,249	11,173,684

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	479,661	545,217
減価償却費	443,610	424,204
のれん償却額	10,982	10,676
負ののれん発生益	△91,735	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△267	—
保険差益	△13,877	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,863	338
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,387	6,038
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	5,815	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,352	27,080
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,150	1,670
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	9,241
受取利息及び受取配当金	△6,384	△5,743
支払利息	8,864	7,684
助成金収入	—	△247,833
固定資産売却損益 (△は益)	△712	△894
固定資産除却損	13,396	183
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,891	△254,307
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△38,637	△33,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	83,897	136,904
未払金の増減額 (△は減少)	△16,627	△8,334
未払消費税等の増減額 (△は減少)	108,325	△43,928
その他	△74,345	5,034
小計	880,326	579,927
利息及び配当金の受取額	6,381	5,746
利息の支払額	△8,886	△7,607
保険金の受取額	23,493	—
助成金の受取額	—	236,070
法人税等の支払額	△108,363	△41,027
法人税等の還付額	—	14,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	792,950	787,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△374,246	△157,339
有形固定資産の売却による収入	4,900	6,279
無形固定資産の取得による支出	△11,883	△14,628
投資有価証券の取得による支出	△1,339	△1,438
投資有価証券の売却による収入	1,725	48
貸付けによる支出	△70,000	—
貸付金の回収による収入	70,730	771
リース債権の回収による収入	11,182	11,295
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△373,454	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△742,384	△155,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	45,060	△31,000
長期借入れによる収入	—	340,000
長期借入金の返済による支出	△160,269	△158,430
リース債務の返済による支出	△65,479	△60,784
自己株式の取得による支出	△50,000	△0
配当金の支払額	△138,918	△138,176
非支配株主への配当金の支払額	△649	△609
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370,257	△49,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,127	△21,007
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△297,564	562,279
現金及び現金同等物の期首残高	2,055,854	1,758,289
現金及び現金同等物の期末残高	1,758,289	2,320,568

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「金属製品事業」、「電線・ケーブル事業」、「不動産事業」及び「化成品事業」の4つを報告セグメントとしております。

「金属製品事業」は、自動車、産業機器、精密機器及び建材等のねじの製造、販売及び加工並びに精密ばね部品及び関連品の製造及び販売を行っております。「電線・ケーブル事業」は、産業機器用、通信用、輸送用及び音響機器用等の電線・ケーブルの製造、販売及び各種ケーブルの端末加工を行っております。「不動産事業」は、不動産の賃貸を行っております。「化成品事業」は、化成品素材の加工・販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための採用している会計処理」と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメント変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「化成品事業」について量的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	金属製品 事業	電線・ケー ブル事業	不動産事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,153,965	1,197,583	265,949	887,319	9,504,818	21,708	9,526,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	576	—	—	—	576	—	576
計	7,154,541	1,197,583	265,949	887,319	9,505,394	21,708	9,527,102
セグメント利益又は損失 (△)	405,326	△586	148,875	49,904	603,518	3,888	607,407
セグメント資産	6,801,704	1,325,638	2,763,910	431,273	11,322,527	183,391	11,505,918
その他の項目							
減価償却費	333,805	34,108	48,847	1,434	418,196	14,456	432,653
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	248,176	10,083	17,473	—	275,733	74,515	350,249

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	金属製品 事業	電線・ケー ブル事業	不動産事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,481,454	1,173,603	244,444	1,386,983	9,286,485	46,223	9,332,708
セグメント間の内部 売上高又は振替高	738	—	—	1,569	2,307	—	2,307
計	6,482,192	1,173,603	244,444	1,388,552	9,288,793	46,223	9,335,016
セグメント利益	445,095	46,434	122,626	104,877	719,035	12,092	731,127
セグメント資産	7,005,373	1,411,722	2,733,173	662,328	11,812,599	299,488	12,112,087
その他の項目							
減価償却費	302,820	29,926	49,283	1,392	383,422	28,817	412,240
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	70,140	17,152	18,546	2,000	107,840	61,403	169,243

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業であります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,505,394	9,288,793
「その他」の区分の売上高	21,708	46,223
セグメント間取引消去	△576	△2,307
連結財務諸表の売上高	9,526,526	9,332,708

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	603,518	719,035
「その他」の区分の利益	3,888	12,092
セグメント間取引消去	5,616	5,616
全社費用(注)	△227,446	△224,669
連結財務諸表の営業利益	385,576	512,073

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,322,527	11,812,599
「その他」の区分の資産	183,391	299,488
全社資産(注)	4,151,770	4,095,970
連結財務諸表の資産合計	15,657,689	16,208,057

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社土地建物等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	418,196	383,422	14,456	28,817	10,957	11,963	443,610	424,204
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	275,733	107,840	74,515	61,403	14,158	19,904	364,407	189,148

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物等の設備投資額であります。

【関連情報】

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
8,389,777	1,116,126	20,622	9,526,526

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
8,393,422	915,898	23,388	9,332,708

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	金属製品事業	電線・ケーブル事業	不動産事業	化成品事業	計			
当期償却額	10,982	—	—	—	10,982	—	—	10,982
当期末残高	47,265	—	—	—	47,265	—	—	47,265

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	金属製品事業	電線・ケーブル事業	不動産事業	化成品事業	計			
当期償却額	10,676	—	—	—	10,676	—	—	10,676
当期末残高	36,589	—	—	—	36,589	—	—	36,589

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

「金属製品事業」セグメントにおいて、株式会社山添製作所の全株式を取得したことに伴い、負ののれん発生益として特別利益に91,735千円計上しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額 (円)	76.76	78.11
(算定上の基礎)		
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	10,957,722	11,173,684
普通株式に係る純資産額 (千円)	10,577,561	10,763,435
差額の主な内訳 (千円) 非支配株主持分	380,160	410,249
普通株式の発行済株式数 (千株)	143,611	143,611
普通株式の自己株式数 (千株)	5,811	5,811
1株当たり純資産額の算定に 用いられた普通株式の数 (千株)	137,800	137,800

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益 (円)	2.50	2.37
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	345,093	327,141
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	345,093	327,141
普通株式の期中平均株式数 (千株)	138,113	137,800

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。